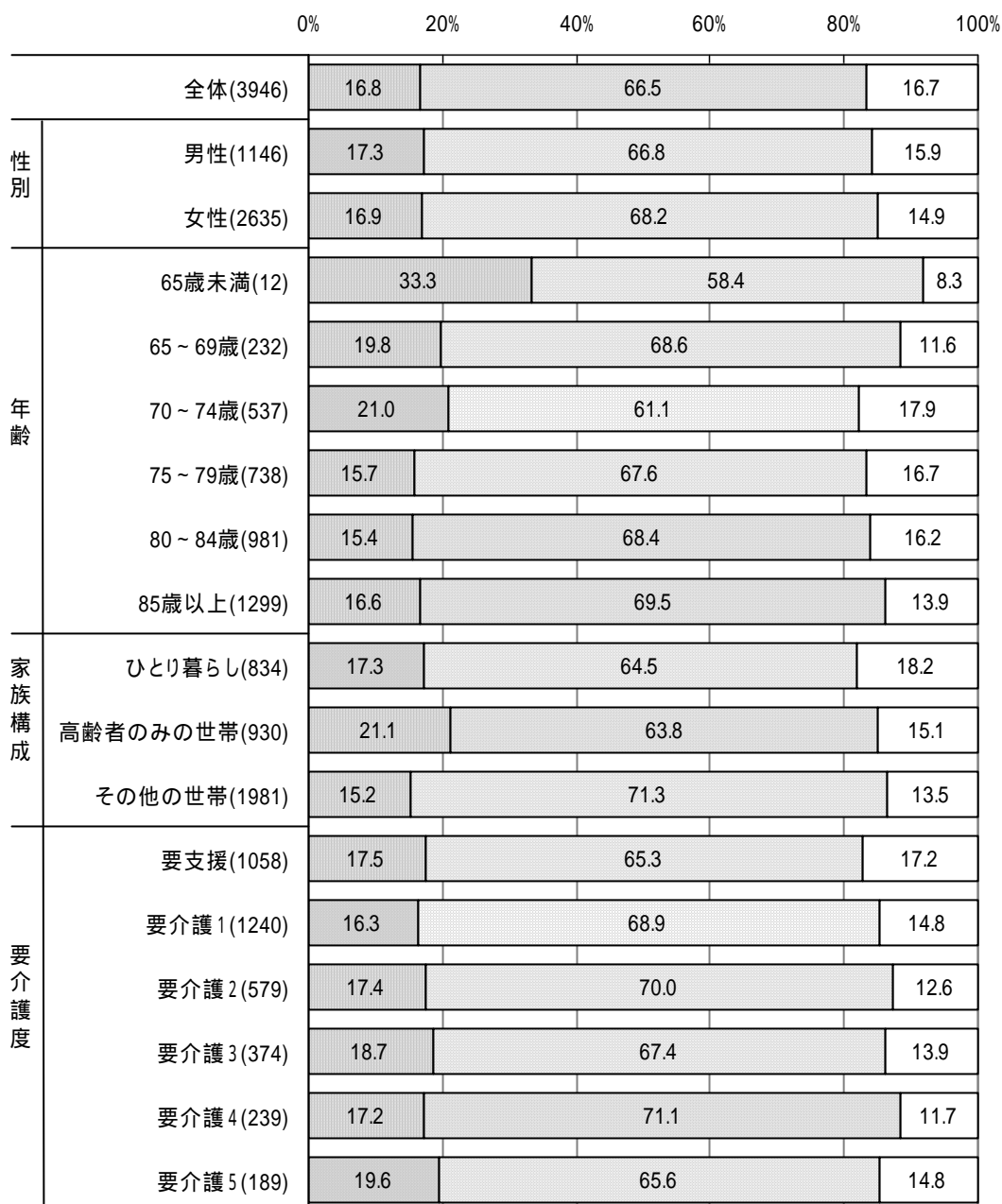


## 1 6 地域福祉権利擁護事業の認知状況

地域福祉権利擁護事業についての認知状況をみると、「知っている」は 16.8%で、「知らない」が 66.5%となっています。

図 2 - 73 地域福祉権利擁護事業の認知状況



□ 知っている □ 知らない □ 無回答

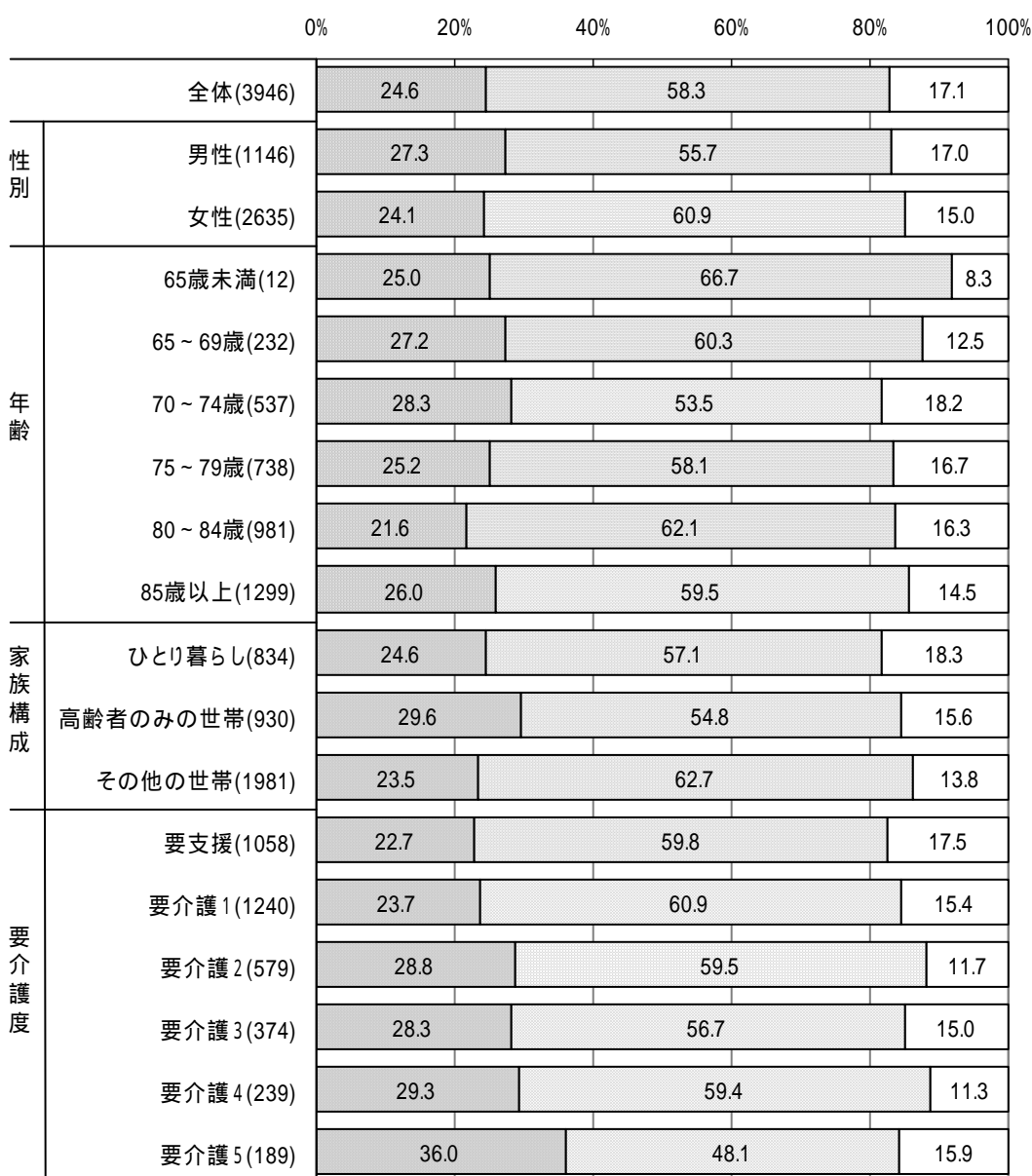
( )内は有効回答数

## 1 7 成年後見制度の認知状況

成年後見制度についての認知状況をみると、「知っている」は 24.6%で、「知らない」が 58.3%となっています。

家族構成別には、高齢者のみの世帯で、「知っている」が高くなっています。要介護度別には、要介護度が高くなるほど、「知っている」が高くなる傾向がみられます。

図 2 - 74 成年後見制度の認知状況



□ 知っている □ 知らない □ 無回答

( )内は有効回答数

## 1 8 介護予防に関して力を入れてほしいこと

介護予防に関して力を入れてほしいことについては、「認知症（痴呆）予防」が最も高く 16.4%、次いで「軽運動（筋力向上等）の推進」が 11.2%となっています。

性別にみると、「軽運動（筋力向上等）の推進」については、女性に比べて男性のほうが高く、逆に「認知症（痴呆）予防」は男性に比べて女性のほうが高くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上において「認知症（痴呆）予防」が高くなっています。また、家族構成別にみると、その他の世帯で「認知症（痴呆）予防」が高くなっています。

要介護度別にみると、要支援、要介護 1 で「認知症（痴呆）予防」が低く、また、要介護 1 で「閉じこもり予防」が高くなっています。

表2 - 17 介護予防に関して力を入れてほしいこと

(単位; %)

区分		軽運動(筋力向上等)の推進	食生活(栄養等)の改善	閉じこもり予防	足指爪のケアの推進	認知症(痴呆)予防	日常生活の動作訓練	歯の健康づくり	生活習慣病の予防	その他	無回答
全体(3946)		11.2	6.3	7.9	1.9	16.4	9.0	2.1	8.5	2.9	33.8
性別	男性(1146)	14.0	6.6	7.2	2.1	14.4	9.2	2.4	8.7	2.8	32.6
	女性(2635)	10.4	6.2	8.5	1.8	17.8	9.3	1.9	8.8	3.1	32.2
年齢	65歳未満(12)	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	25.1
	65～69歳(232)	12.9	8.6	8.6	2.2	10.8	16.4	1.3	8.6	1.7	28.9
	70～74歳(537)	11.4	6.3	10.1	1.9	13.2	8.2	2.4	8.4	3.5	34.6
	75～79歳(738)	15.7	7.3	7.2	2.0	14.0	7.7	2.4	7.6	3.9	32.2
	80～84歳(981)	9.7	6.6	8.6	1.9	16.5	7.8	2.0	10.5	2.5	33.9
	85歳以上(1299)	10.3	5.3	7.2	1.7	21.0	10.2	1.8	8.2	2.8	31.5
家族構成	ひとり暮らし(834)	9.0	9.5	7.9	2.0	11.8	5.9	2.4	9.8	4.9	36.8
	高齢者のみの世帯(930)	14.2	6.0	7.3	1.7	15.7	8.1	2.0	8.6	3.3	33.1
	その他の世帯(1981)	11.6	5.4	8.6	1.9	19.4	11.3	1.9	8.3	2.1	29.5
地区	中央部(714)	11.1	5.6	7.7	1.5	15.5	8.7	2.9	10.4	3.5	33.1
	西部(384)	10.4	6.0	6.8	1.8	18.8	9.4	1.8	8.6	2.6	33.8
	日光(323)	12.4	6.2	7.7	2.2	14.9	9.6	1.5	9.3	4.3	31.9
	市橋(631)	12.0	6.8	9.7	2.2	15.8	7.6	2.5	10.1	1.9	31.4
	南部(400)	12.3	6.8	6.3	2.8	17.3	12.3	2.8	6.8	3.3	29.3
	長森(324)	11.7	5.6	8.6	1.5	22.2	7.4	1.5	7.7	2.2	31.6
	東部(261)	8.4	7.7	8.0	2.7	14.2	9.2	1.5	10.7	3.4	34.2
	北部(512)	12.7	6.6	8.4	1.8	17.0	11.3	1.6	5.5	3.1	32.0
	北東部(137)	11.7	5.1	10.9	0.0	21.2	10.2	0.0	10.9	2.9	27.1
要介護度	要支援(1058)	11.6	8.1	7.9	1.6	13.7	6.8	2.6	10.7	2.9	34.1
	要介護1(1240)	13.1	6.0	10.0	2.1	15.0	9.5	1.1	8.2	3.3	31.7
	要介護2(579)	9.7	6.7	6.7	1.2	20.4	11.2	2.6	7.6	3.3	30.6
	要介護3(374)	11.0	5.3	6.4	3.2	20.6	11.0	1.9	7.0	3.2	30.4
	要介護4(239)	10.0	4.2	7.5	2.5	24.3	10.9	2.1	8.4	1.3	28.8
	要介護5(189)	13.8	2.1	5.8	1.6	20.6	12.2	2.1	9.5	2.1	30.2

( )内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

全部を希望。(3件)

分らない。(2件)

生きがい、健康に関する自己啓発、PR、講習会の実施。

今までどおりに。

いろんな施設を作って頂きたい。

思っていません。

介護が必要になってからの対策も必要ですが、老人が若い人も交えて社交の場を気軽にもって、家庭においても社会においても老人の必要が大きい事を自覚できる宣伝と実行。

介護者の入浴場所。

介護保険制度と障害認定制度による格差是正が出来ないか。差がありすぎるようです。

機能回復、維持訓練。

車椅子が利用出来るよう道路整備。

現状維持 落ちないように。(サービスの質)

高齢者の憩いの場を多くし、外出できる機構があればよい。デイサービスではダメ。

時代の進展と共に年齢を重ねながら感謝に値すると思っている。人間の要求には限りないが...

市内中のバリアフリー化。

市の援助を求めるばかりではいけないと思う。各個人が努力。

趣味の教室を沢山やってほしい。

情報の普及に力を費やして頂きたい。「そんなこと知らなかった」という事が無いように。

自立の為の働く窓口を作ってほしい。

神経症難聴で何事も不便。

精神的援助の付加。

精神的ケア。

全部して欲しくても病気の種類によって出来ないこともある。より細かくしていただけます様お願い致します。

何にもない。

ひとつだけでは決められません。

人のつながり、会話が出来る、場所が欲しい。

保険制度(認定度合いのクリアさ)、費用負担のケア。

ボランティア多くしてほしい。今は有料が多いので下手に頼めない。

目が悪いので、歩行者の歩きやすい道の整備に力を入れて欲しい。

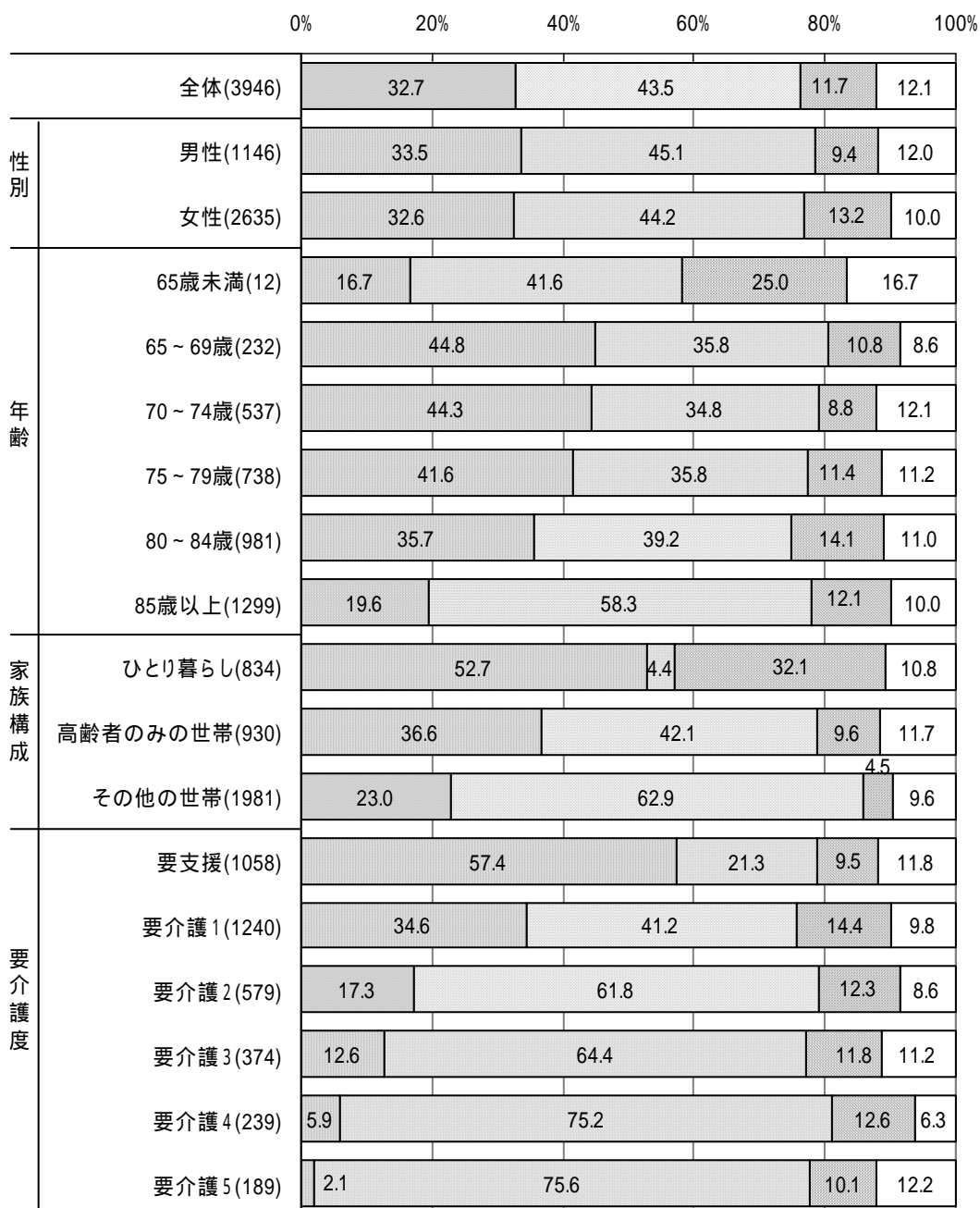
老人食の宅配。

老人ホームの建設。

## 19 記入者

調査票の記入者は、「本人」が32.7%、「同居の家族」が43.5%となっています。年齢別には、65歳以上で年齢が高くなるほど「本人」が低く、「同居の家族」が高くなっています。また、子どもと同居などのその他の世帯では「本人」が23.0%と低くなっています。要介護度別には、要介護度が高くなるほど「本人」が低くなっています。

図2 - 75 記入者



□ 本人 □ 同居の家族 □ その他 □ 無回答

( ) 内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

娘（24件）  
ホームヘルパー（18件）  
別居の家族（15件）  
ケアマネジャー（9件）  
長男（6件）  
妹（5件）  
別居の長男（5件）  
子ども（別居）（4件）  
家族（3件）  
長女（3件）  
子ども（2件）  
主人（2件）  
親族（2件）  
デイサービス職員（2件）  
別居の娘（2件）  
息子（2件）  
息子の配偶者（2件）  
甥の妻  
弟  
弟の嫁  
女  
義姉  
グループホーム職員  
心優しい人  
次女  
施設職員  
実姉  
知人  
妻  
同居の妹  
同居の家族  
別居の姪  
本人と息子  
本人の居住するグループホームのヘルパー  
本人より聞き取り  
孫  
姪  
義子

## 20 介護者

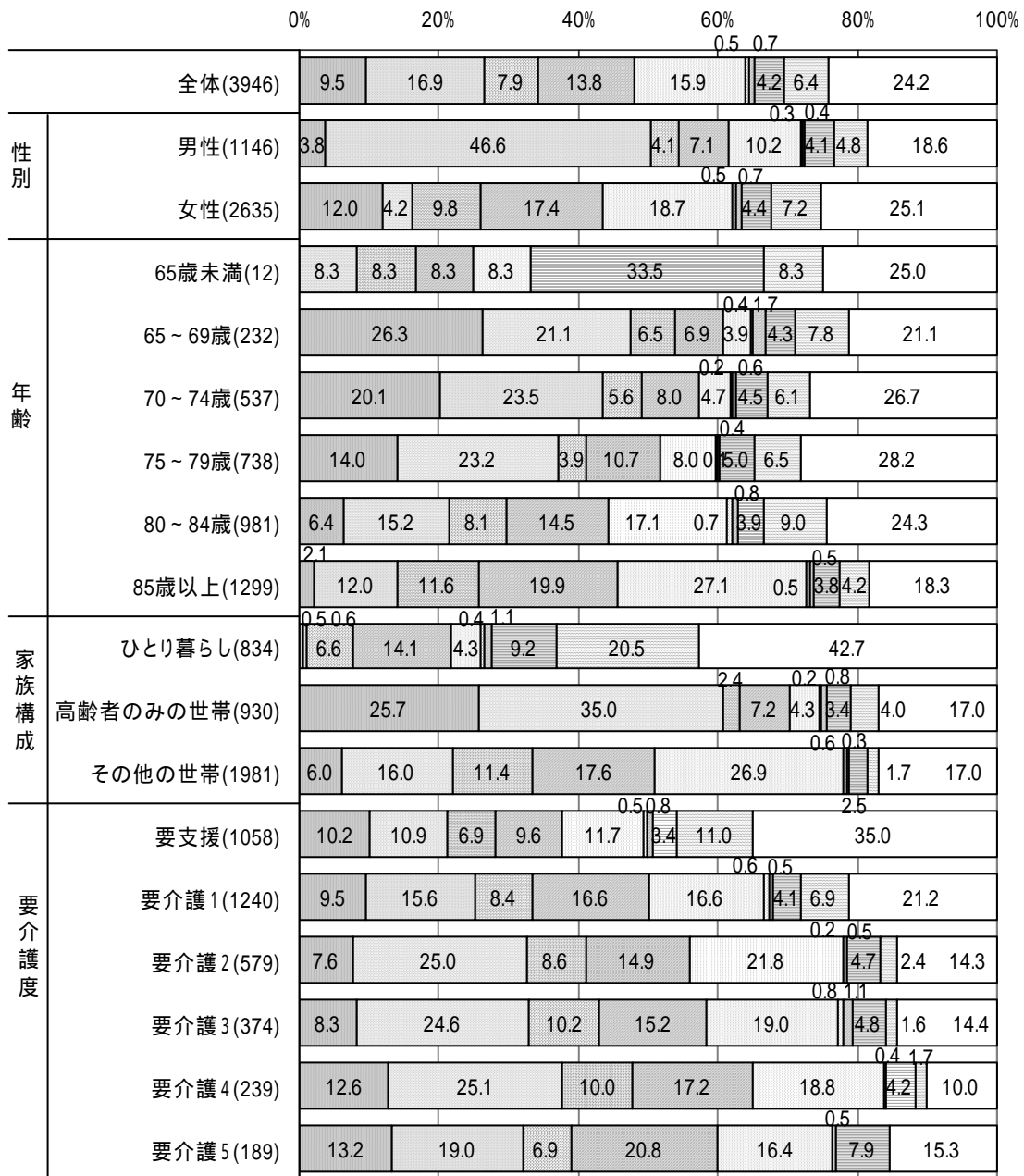
### (1) 主な介護者との関係

介護者は、「配偶者(妻)」が16.9%、「息子の配偶者」が15.9%、「娘」が13.8%となっており、家族の女性が多くなっています。

性別では、男性では46.6%が「配偶者(妻)」で、女性は、「息子の配偶者」「娘」が高くなっています。

また、「いない」は全体で6.4%となっており、ひとり暮らしでは20.5%となっています。

図2-76 主な介護者との関係



配偶者(夫)     配偶者(妻)     息子     娘     息子の配偶者  
 娘の配偶者     その他の男性     その他の女性     いない     無回答

( )内は有効回答数



「その他」として記入は、次のとおりです。

【男性】

兄（2件）  
甥夫婦（2件）  
弟（2件）  
息子（2件）  
妹の旦那  
ケアハウス職員  
施設職員  
同居家族  
訪問事業所

【女性】

ホームヘルパー（34件）  
妹（15件）  
息子の妻（8件）  
姉（4件）  
グループホームの職員（4件）  
弟の嫁（3件）  
孫（3件）  
娘（3件）  
姪（3件）  
甥の妻（2件）  
義姉（2件）  
義妹（2件）  
隣の人（2件）  
孫（2件）  
孫の配偶者（2件）  
兄の嫁  
弟の嫁  
介護士と娘  
家政婦  
家族  
ケアハウス職員  
心優しい人  
施設職員  
施設のスタッフ  
親類（本人の兄弟の子ども）  
知人  
妻と娘  
母  
孫の配偶者  
孫娘  
息子の元配偶者  
家主  
友人  
要介護者の兄の孫。  
要介護者の嫁  
要介護の私

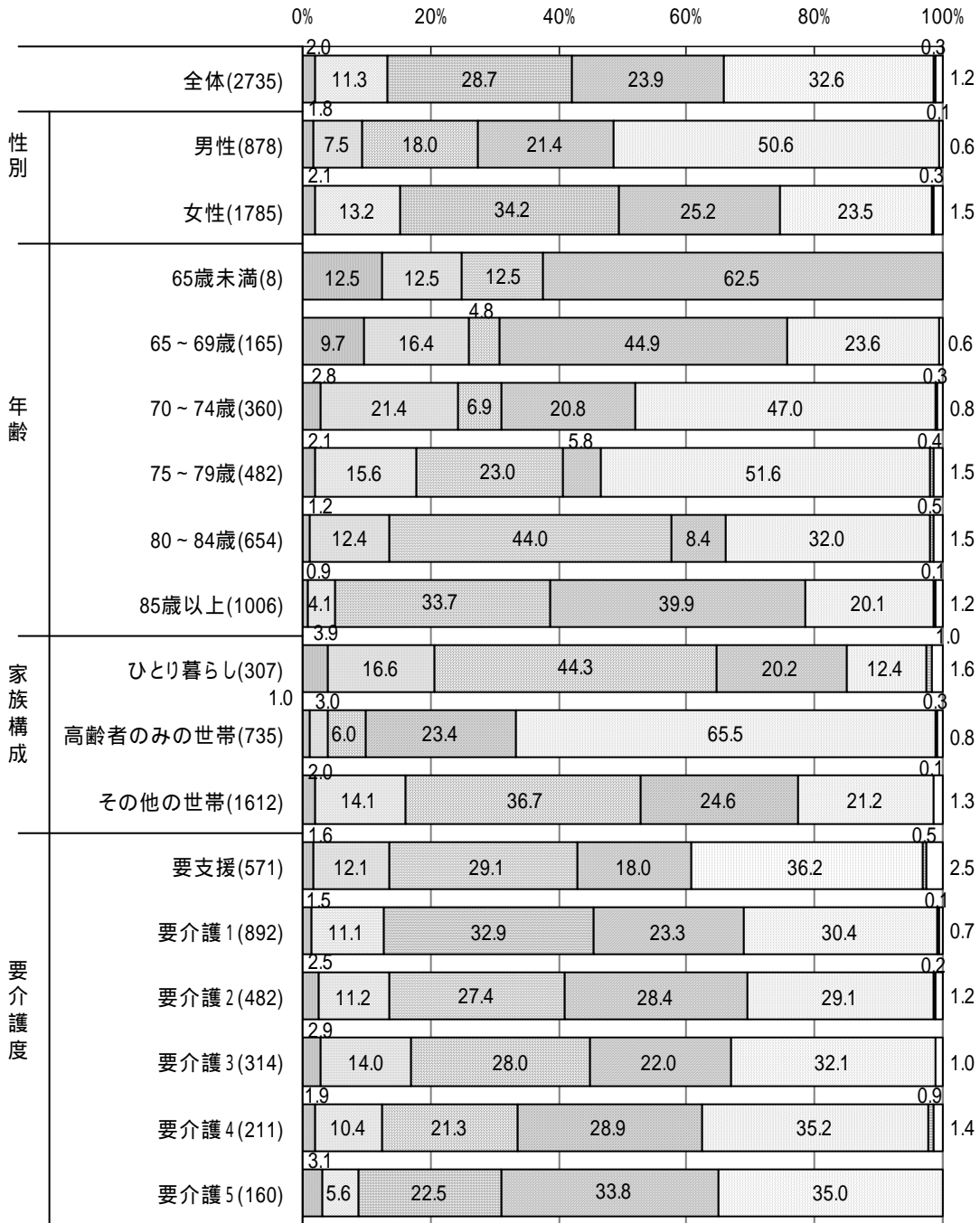
(2) 介護者の年齢

介護者の年齢は、「70歳以上」が最も高く 32.6%、次いで「50～59歳」が 28.7% となっています。

年齢別には、前期高齢者は当事者の年齢に近い 60歳以上が高く、後期高齢者は当事者の子どもの年齢にあたる 50歳代、60歳代が高くなっています。

また、高齢者のみの世帯では、「70歳以上」が6割を超えています。

図2 - 77 主な介護者の年齢



□ 39歳以下 □ 40～49歳 □ 50～59歳 □ 60～69歳 □ 70歳以上 □ わからない □ 無回答

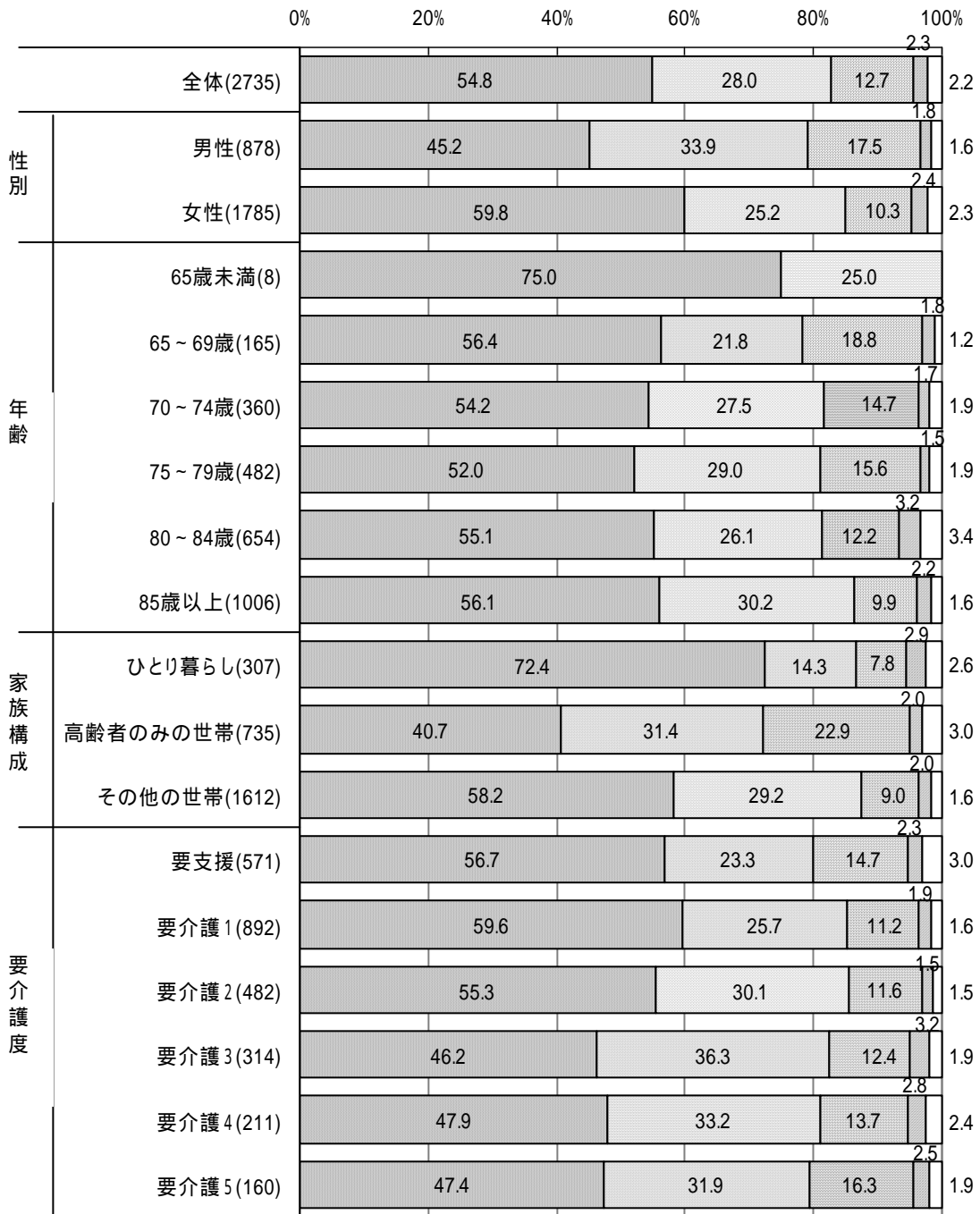
( ) 内は有効回答数

(3) 介護者の健康状態

介護者の健康状態は、「おおむね健康」が最も高く 54.8%、次いで「病気ではないが体調がすぐれない」が 28.3%となっています。

性別には、女性で「おおむね健康」が男性に比べて高く、男性で「病気ではないが体調がすぐれない」が女性に比べて高くなっています。

図2-78 主な介護者の健康状態



□ おおむね健康 □ 病気ではないが体調がすぐれない □ 病弱 □ わからない □ 無回答

( )内は有効回答数

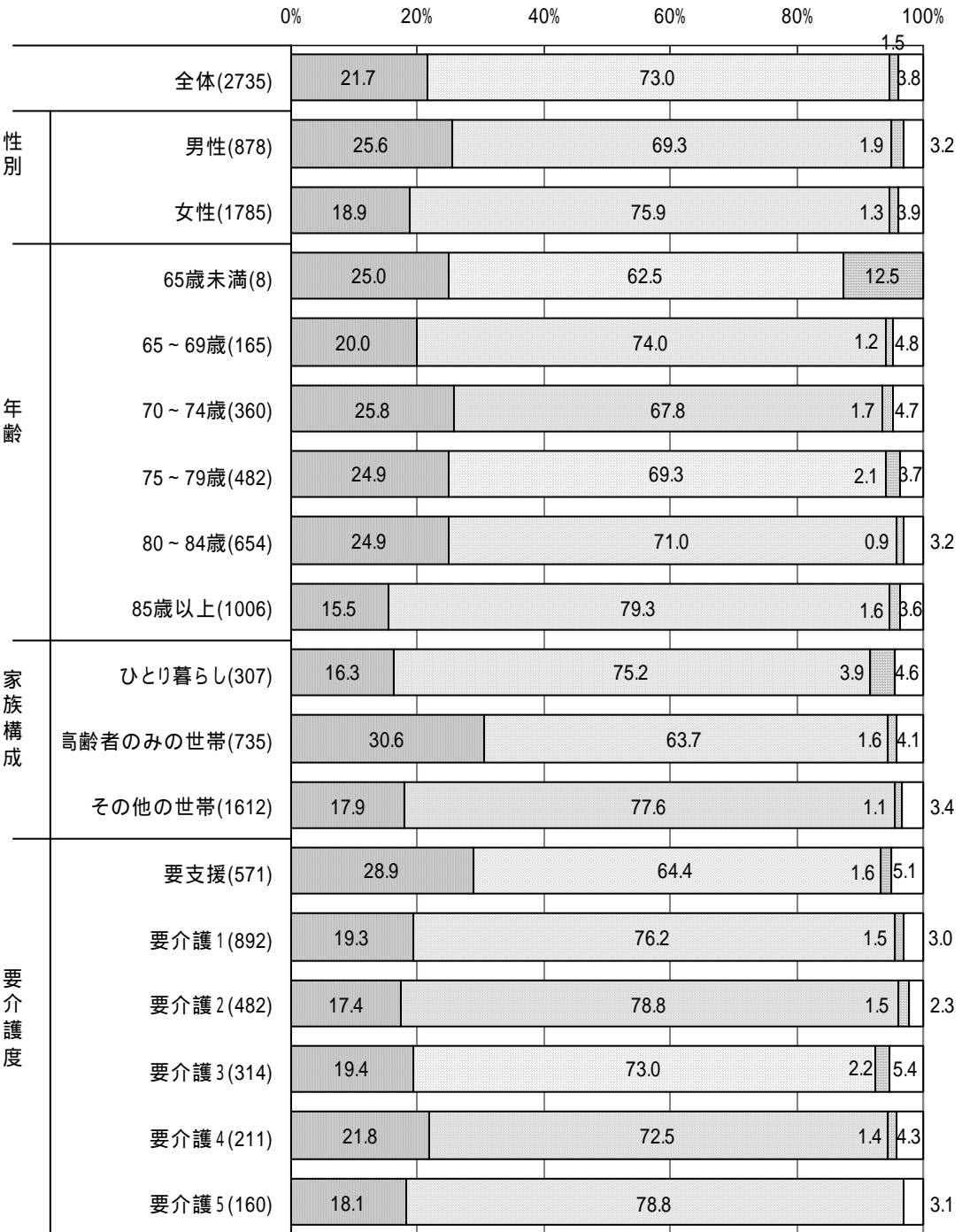
(4) 介護者の介護認定

介護者の介護認定状況は、「受けている」が21.7%となっています。高齢者のみの世帯では「受けている」が30.6%となっています。要介護度別には、要支援で「受けている」が高くなっています。

主な介護者の介護度については、「要支援」が39.6%、「要介護1」が27.4%となっています。

また、介護者の認知症（痴呆）の症状の有無は、「ある（重い）」「ある（軽い）」を合わせて23.2%となっています。その中で、「ある（重い）」は5.2%となっています。

図2 - 79 主な介護者の介護認定状況



□ 受けている □ 受けていない ■ わからない □ 無回答

図 2 - 80 主な介護者の要介護度

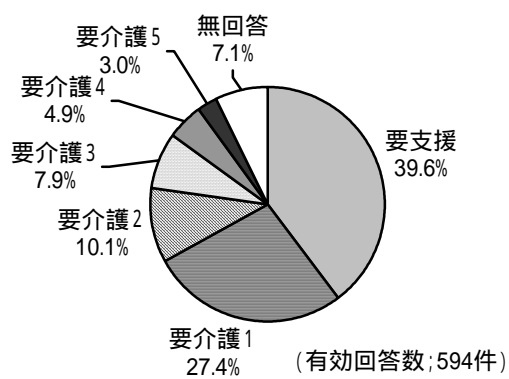
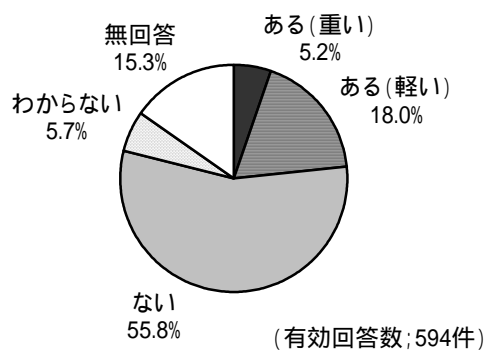


図 2 - 81 主な介護者の認知症（痴呆）状況



(5) 介護するうえで困っていること

介護するうえで困っていることは、「心身の疲労が大きい」が最も高く 36.0%、次いで「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」が 34.6%となっています。要介護度別には、特に「心身の疲労が大きい」について要介護度が高くなるほど高く、要介護4、5では6割を超えています。

表2 - 18 介護するうえで困っていること

(単位 ; %)

区分		心身の疲労が大きい	睡眠不足がひどい	経済的負担が大きい	仕事に出られない	買い物などの外出ができない	旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない	本人が介護サービスの利用をこぼむ	介護の方法がわからない	もつと訪問介護や通所サービス、短期入所サービス等を利用したい	家族の理解が足りない	地域に協力者がいない	特にない	その他	無回答
全体(2735)		36.0	16.6	15.8	11.7	12.0	34.6	11.3	4.1	15.4	4.8	6.0	0.1	2.2	50.3
性別	男性(878)	41.2	21.4	16.7	9.6	14.2	39.0	13.0	4.9	17.3	4.1	6.8	0.2	2.2	45.9
	女性(1785)	33.8	14.1	15.2	12.9	10.5	32.8	10.5	3.8	14.7	5.2	5.5	0.1	2.3	52.4
年齢	65歳未満(8)	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0
	65～69歳(165)	40.6	21.8	21.8	10.3	13.9	38.2	7.9	4.8	12.7	4.2	7.3	0.0	1.2	47.3
	70～74歳(360)	38.9	18.6	17.2	12.2	15.8	37.2	11.9	4.7	13.6	6.4	9.7	0.0	1.1	47.5
	75～79歳(482)	36.3	18.3	13.5	8.9	11.8	30.3	9.3	5.0	12.9	5.0	6.2	0.2	3.3	54.6
	80～84歳(654)	33.0	14.4	15.7	11.6	11.3	30.6	10.9	4.6	14.7	4.4	5.5	0.3	1.8	52.9
	85歳以上(1006)	36.5	15.4	15.1	13.1	10.1	38.0	12.8	3.2	18.5	4.4	4.6	0.1	2.6	48.4
家族構成	ひとり暮らし(307)	21.8	6.8	11.4	8.8	4.9	14.7	7.2	2.9	8.8	3.9	6.2	0.3	3.3	68.1
	高齢者のみの世帯(735)	43.3	22.7	17.1	7.6	15.6	36.5	11.8	6.3	14.0	3.1	8.6	0.3	1.9	46.7
	その他の世帯(1612)	35.7	15.4	16.0	14.1	11.3	37.9	12.0	3.5	17.6	5.7	4.5	0.1	2.2	48.6
要介護度	要支援(571)	21.0	8.6	7.2	6.1	8.2	21.0	8.9	3.0	6.7	2.3	4.2	0.2	1.2	68.5
	要介護1(892)	29.1	9.5	12.0	10.1	9.2	28.9	10.1	3.3	14.7	3.8	4.1	0.1	2.1	56.3
	要介護2(482)	36.9	13.9	15.8	10.4	11.4	40.0	12.7	4.1	19.9	6.0	6.0	0.4	2.3	45.6
	要介護3(314)	55.7	29.6	23.6	19.1	17.2	47.8	18.5	8.0	22.9	7.0	10.2	0.0	3.2	31.8
	要介護4(211)	62.6	34.6	28.9	18.5	18.5	57.3	13.3	5.7	19.4	9.5	11.8	0.0	2.4	24.6
	要介護5(160)	60.0	43.8	36.3	24.4	22.5	51.9	8.1	3.1	20.0	6.3	6.3	0.0	4.4	28.8

( )内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

血縁者の理解、協力が無い。( 5 件 )

現在には無いが、将来的には不安がある。( 4 件 )

病人特有のわがままに、気づかれるときが多い。( 2 件 )

収入が少ないから、自由に旅行などいけない。( 2 件 )

話が通じない。( 2 件 )

2、3時間の外出は可能ですが、長時間は無理なので、急な用事の際に困ります。

足腰が悪いので、外出に不便を感じます。

家での仕事が進まない。

家の中を杖をついて歩くので、睡眠不足。本人がわがまま。自分の都合のいい様に人に話す。

一時期より( 9 月頃 )よりうつ症状は良くなっているが、自分から話をするのは排便など困ることだけ。

今の所よい、将来はもう少し協力して欲しい。

動けなくなった時は、ものめずらしさもあり、子どもさん達も良く来てくれましたが、介護が長くなるとなくなってしまう。

遠距離で、毎週日、祝日通うのが、心身、経済的に大きな負担がかかっている。

男一人暮らしなので、食事の関係です。

オムツ代金の支給が受けれたら有難い。

介護者が高齢である為介護が出来なくなった時、本人は単身世帯となる、この時本人はどこで生活するのか一番心配。

介護者が病気になった時、預かってもらえる所が少ない。

介護者自身の先行きを思うと不安。( 年齢 71 歳 )

介護者の身近に常時いなければならぬ。

介護する人が障害者で( 3 級 )介護しきれない。

介護のために正規職を辞めた。納得して辞めたが経済的には負担になった。

介護を受ける者が家族内に複数いる。

外出時にサポートする程度です。

学校、地域の行事や役員の仕事が非常に負担になる。まわりも似たような状態なので変わってもらうことも出来ない。地域の行事はもっと時間に余裕のある人中心にやってもらいたい。

体が疲れるので、大きいスーパーに行くのが出来ない

急にショートステイを利用したいことが発生した際に施設が空いていない。

近隣者で障害者に対して理解力に欠ける人が見え、気を使います。

車椅子ごと乗れるタクシーが必要、月リース 2,000 円は高い。

車で 30 分 ~ 40 分かかる。

行動を気をつけていないと何をするかわからない。

現在はグループホームに入所しているが、医療機関へは通院 etc 家族がしなければならず、母の容態に合わせるために会社をやめ現在無職、収入なし。  
現状は重くないのでいいが、だんだん病状が進むと大変だと思います。  
高齢の為身体不自由度が増している。  
子どもたちにまで負担をかけている。子どもが小さいと負担が大きい。  
この家で誰にも知られず死んで行くのかと思っています。  
仕事が忙しくてゆっくり時間が取れない。  
仕事で出ている間の昼食の段取り。夕食のため早く退社する必要あり。  
仕事を持っているのでやや無理をしている時がある。  
失語症があるので何を要望しているのか分からない時があり、私も母も字を書けない時があり、私自身情けなくなる時がある。時々更年期障害の症状が出る為、辛いです。  
週2回程度ですけど精神的に疲れます。  
週一回のデイサービス以外、外出しようとしません。  
自由時間が少ない。  
住宅が老人用に出来てない。途中同居の為、リホームするにも経済的負担が大きい。介護者が今後高齢化し、収入も減るので今後が不安だ。  
主人は今、1週間に1回利用していますが、料金が安い。デイサービスも週2回利用している。  
障害者である。  
少々睡眠不足。  
情報を集めるのに困る。  
ショートステイが休日は利用出来ないため不自由している。  
ショートステイ先から利用することを拒まれた(今年初めて2箇所のショートステイを利用しましたが、2ヶ所とも)  
職場での理解や支援が得られない。通院や夕食の準備などで、他の人と比べてしっかり働いていないと見られる。  
心身の疲労が大きい程でもないが、気分が重い。  
外に住む子どもたちが利用を拒むし、親の様子を理解しようとしません。  
外の兄弟の協力がほとんどないので悲しいです。  
それぞれ家庭があり遠方である。  
体調に急変があった時、対応してくれる(夜中など)病院ではない。  
誰一人介護する人がいない為、何もかも一人でしなくてはならないため、時々ストレスがたまり、体調を崩す。  
短期入所サービスが希望の日時に行けない。  
同居家族の理解があっても、それ以外の家族(本人の娘や親族)の協力が少なく、意見ばかりされる。  
同居でない為、介護に通う交通費がかさむ。  
特別障害手当てを増やして欲しい。



独居なので電話がかかってきた時や、来客時の対応が心配。  
なかなか入所出来ない。  
難聴（ほとんど聴けない）のため、不調が分からないことがあり察してやれない。  
入院中。  
入院中で毎日病院に行くから大変です。  
乳児がいる。  
尿失禁がひどく、いつも家中後始末に追われている。他人には分かりにくい為、心労が大きい。  
年末年始の風呂。  
初めての事柄で戸惑っている。  
控えめになり、気持ちが落ち込むことがある。  
人に話す事が達者なので、本当の事は周りの人に理解してもらえない。  
一人では仕事が出来ないので、一人お願いするが、お金の負担が大きい。  
病気等で介護出来ないかもしれない時のためにショートステイを一度試したいと思っても、主人の妹が反対。子育てしながら働く娘の所にたまには行ってやりたいのですが……。面倒は見るといっはくれるのですが、気が引けて。ショートステイだと気が楽なのですですが。  
病弱のため無理が出来ない。  
不安感。  
ホームにいますが、家にいるときと同じ状態で、中にいる方々との人間関係に困っています。  
歩行に気を使っている。  
本人が甘えすぎないように、お互いに配慮するべきである。  
本人が家族に相談しないで、事業所の人と勝手に話を進めてしまう。  
本人がショートステイを嫌がるので、介護者が家族で泊りがけで出掛けると一人で居ることになるので、出掛けづらい。  
本人との意見が合わない事もあるし、本人がわがままな為、その日によって言う事が違うので、対応にこまる。  
本人の健康状態が常に変化するため、日常的に心配がある。  
本人の精神的自立がない。  
毎日放射線を受けに行くのに、車椅子なので送迎をするのにとても疲れる。  
身内の意見が統一できないこと。  
耳が遠い。  
息子と2人3脚の生活。  
元教員OBのためうぬぼれがひどく強情で介護がやりにくい。  
物忘れがひどいので、火の扱いなど目が離せない。  
休みが取りにくいので、不自由をかけている。離れて住んでいるので、移動に時間をとられ不便。  
用具はみんな苦しい中から買い揃えました、今は、紙おむつを買うのが大変です。

要介護者が医療を必要になった時の施設と病院の連携がなかなかスムーズに取れないことが、心身共に負担になる。

嫁の立場なので、おじいさんがお漏らしを隠しても怒ることが出来ない。ストレスがたまる。

両親が共に要介護1で、知的障害者の弟の世話もしているので、何かと雑用も多く、とても大変です。

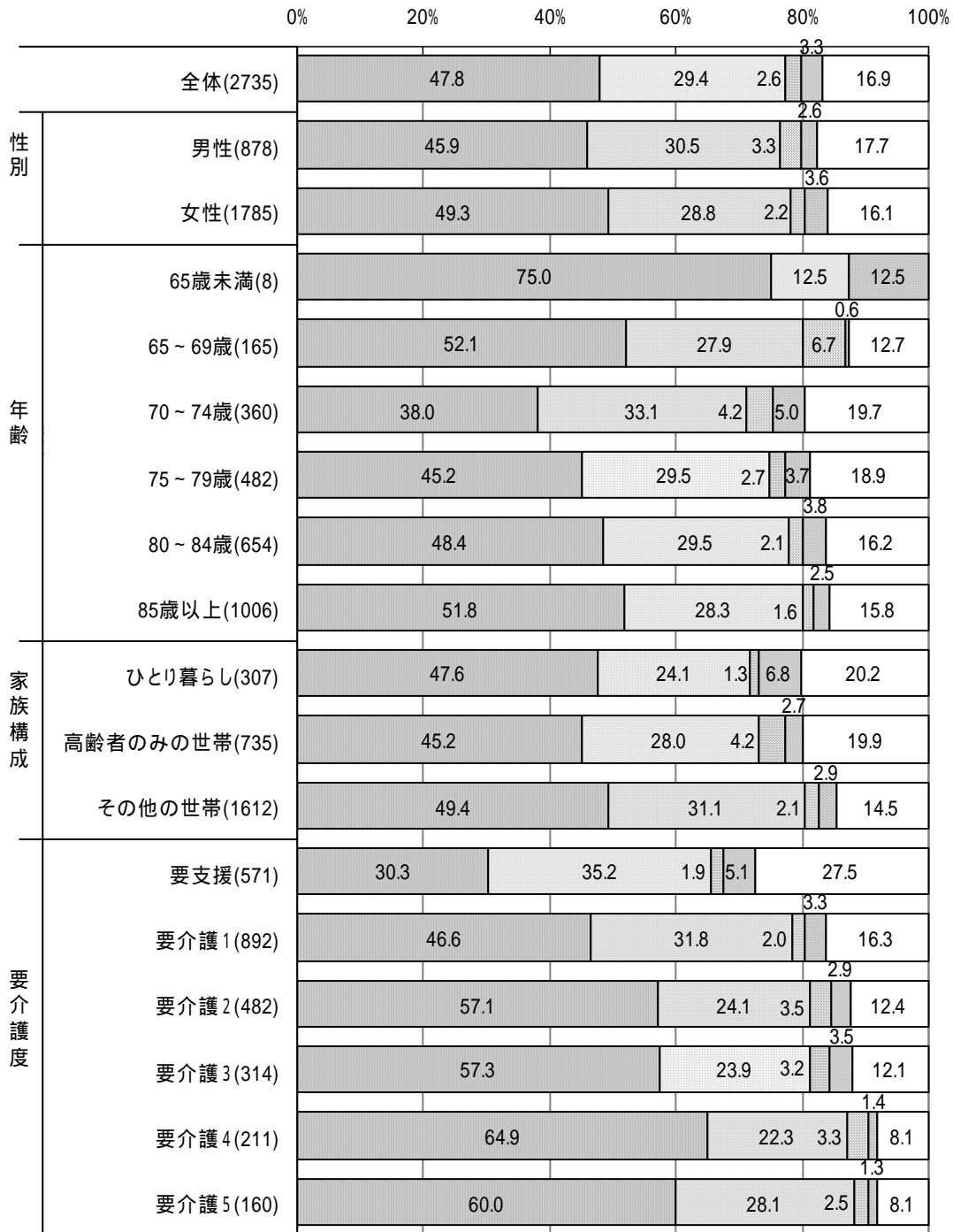
私自身名古屋在住で仕事もしているので、又、主人の母の介護もあり大変です。私自身の人生がまっとうできない。かなり制限を受けているが、母の事は放っておけない、母の事は大事、安心して任せられる人が果たしているかどうか分からない。

私は骨折して5月から週2回掃除に（今は1.5時間、最初は2時間）でした。腰と足が痛いので、大変助かっています。感謝しています。有難うございます。

(6) 肉体的・精神的な介護負担の変化

介護保険サービスを受けての介護負担の変化は、「介護の負担が軽くなった」が47.8%である一方、「変わらない」が29.4%となっています。要介護度別には、要介護度が高くなるほど「介護の負担が軽くなった」が高く、要介護2以上では約6割となっています。

図2 - 82 肉体的・精神的な介護負担の変化



介護の負担が軽くなった
  変わらない
  介護の負担が重くなった
  その他
  無回答

( ) 内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

サービスを受けていないので分かりません。(3件)

今の所サービスは受けていないが、何時でも受けれる安心感がある。

今の所どうなるかわからないですが、家族など皆様に世話をかけない様に頑張りたいと思って居ります。

今のところどうにかひとりで生活してくれますので、有難いです。

うれしい。

介護負担が軽くなりましたが、痴呆が進行するので変わらないように思います。

介護保険サービスの中身が物足りない。

介護保険サービスの人にひどいことを言われて、精神的ショックを受け、相談しにくくなった。

変わらないと言いたくはないのですが、週2日なので、(デイサービスに)もう1日行って欲しいのですが、本人が気が進まないのが困っています。

グループホームのため。

経済的に少し軽くなった。

経済的に悩むことが多い。将来についても何時まで介護するのか困惑する。

精神的に楽になりました。

デイサービスの帰宅時間が早いので、外出しているときは時間が気になる。

デイサービスの入浴は助かります。

デイに行っている時は軽いですが、帰ってくると重みがより多い。

病人がいると、自分が通院する暇も無かったが、医者にかかる事ができるようになった。

負担は軽くなりましたが、その後、肉体的に色々な事をしなければならないので大変です。

ヘルパーさんの出入りによって家の空気がいれかえられ、精神的にも有難い。老夫婦2人だけとういのはよくない。

他の兄弟姉妹の協力が無い。

本人が喜んでいる。

本人の年金額で負担できればベスト。

まだ本人がやろうとする気があるので傍で見守っていますが、いざと言う時サービスが受けられというだけで、気持ちが楽になる。

見える負担は軽くなったが、精神的にはまいっている。

息子の意向が確認できない。

料金の事で、いつまでいけるのか不安を感じています。